

春

谷垣満壽子

懐かしむ土筆一本摘みし畦

蝶生まるまだ影もたぬ淡さかな

遺されて今年も仰ぐ櫻かな

櫻並木ゆつくり抜ける路線バス

はればれとせぬ日続きて花曇

朝七時ブラウニング*の春は今

*ロバート・ブラウニングはイギリスの詩人(一八二二〜八九)

春昼や眠たげにある椅子二つ

花の雨遺品少なく棲むと決め

つぎつぎと街の灯消えて春の闇

生きるとは日々の勝負か飛花落花